マンガで解説

統合失調症 Q&A

京都市こころの健康増進センター

まず 統合失調症というのはどういった病気ですか？

京都市 新人スタッフ
気付（きづき） こころ

精神科医

幻覚や妄想 意欲低下 ひきこもりなどの精神症状を中心とする病気です

幻聴（正体不明の音や声が聞こえてくる）

意欲低下（家の中で寝てばかりいる）

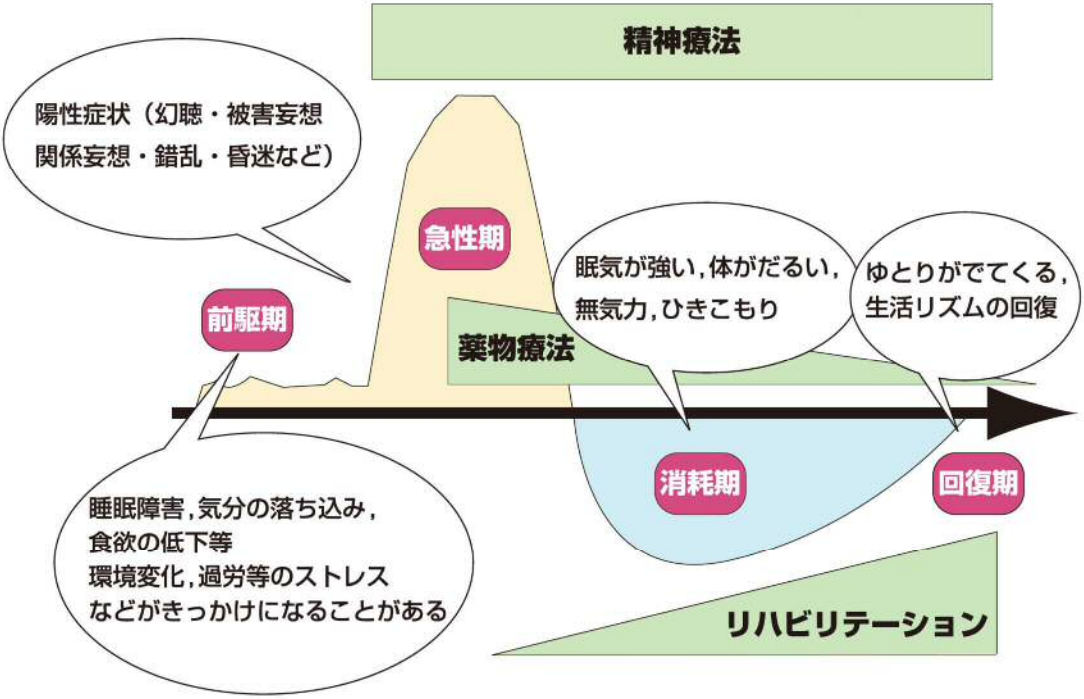
どういった方がかかりやすい病気なのでしょうか？

思春期～青年期

多くの方が思春期から青年期にかけて発病します

男女による発病率の差はなく100人～120人に1人の方がかかると言われていますね

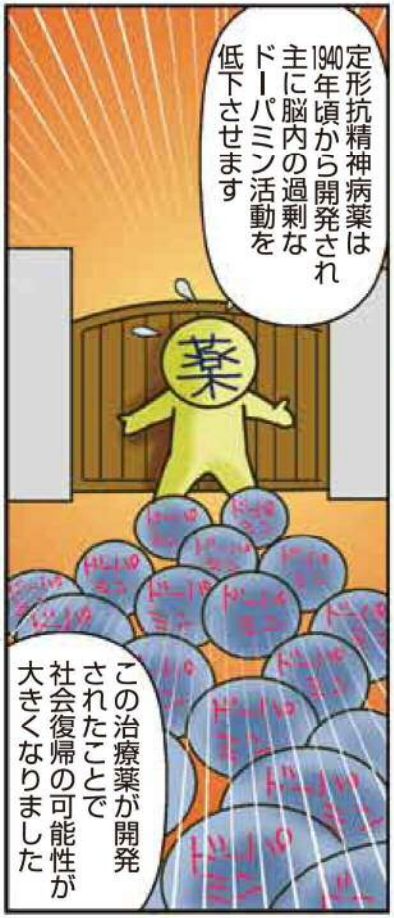
病気になる原因は判っているんですか？
はっきりとは判明していませんが…
ストレス
ストレス
ストレス
脳の中の神経伝達物質（ドーパミンなど）のバランスが社会生活上のストレスによって崩れることが原因と考えられています


精神療法
陽性症状（幻聴・被害妄想
関係妄想・錯乱・昏迷など）
急性期
前駆期
薬物療法
眠気が強い，体がだるい，
無気力，ひきこもり
ゆとりがでてくる，
生活リズムの回復
消耗期
回復期
睡眠障害，気分の落ち込み，
食欲の低下等
環境変化，過労等のストレス
などがきっかけになることがある
リハビリテーション

経過はこんな感じだよ

なるほど～
ではどういった治療方法が取られているのですか？
休息
睡眠
ZZZ
薬物療法
精神療法
リハビリテーション
まずは睡眠や休息を十分に取ることですね
それから薬物療法・精神療法・リハビリテーションの3本柱で治療していきます

A.薬物療法
抗精神病薬
定型抗精神病薬
非定型抗精神病薬
抗精神病薬とは統合失調症の症状を改善するための薬で
定形抗精神病薬と非定形抗精神病薬の2種類があります


定形抗精神病薬は1940年頃から開発され主に脳内の過剰なドーパミン活動を低下させます
薬
この治療薬が開発されたことで社会復帰の可能性が大きくなりました

主な定形抗精神病薬

一般名	商品名	特徴
ハロペリドール	セレネース, リントンなど	1957年に開発。注射薬（点滴,筋肉注射）もある。
クロールプロマジン	コントミン, ウィンタミンなど	1952年に開発。最近,使用頻度は減っている。

主な非定形抗精神病薬

一般名	商品名	特徴
リスペリドン	リスパダールなど	液体タイプや水なしで飲めるタイプもある。
オランザピン	ジプレキサ	通常,一日一回。糖尿病がある人には使えない。 水なしで飲めるタイプもある。
クエチアピン	セロクエル	糖尿病がある人には使えない。
アリピプラゾール	エビリファイ	液体タイプもある。
ペロスピロン	ルーラン	日本で開発。
パリペリドン	インヴェガ	通常,一日一回。徐放剤（ゆっくり長く効く）。

薬にはこんな種類があるよ

主な持効性抗精神病薬（注射薬）

一般名	商品名	特徴
ハロペリドールデカン酸エステル注射液	ハロマンス	通常,4週間に一回。内服薬と併用することもある。 筋肉注射。
リスペリドン持効性懸濁注射液	リスパダールコンスタ	通常,2週間に一回。内服薬と併用することもある。 筋肉注射。

他にもいろいろな種類があります。

B.精神療法

精神療法とは医師等と面接して話をすることです

幻覚や妄想などの症状の確認や日常生活や療養についてのアドバイスなどが行われます

この他にも社会復帰に向けたリハビリテーションや服用している薬の副作用などについても相談できます

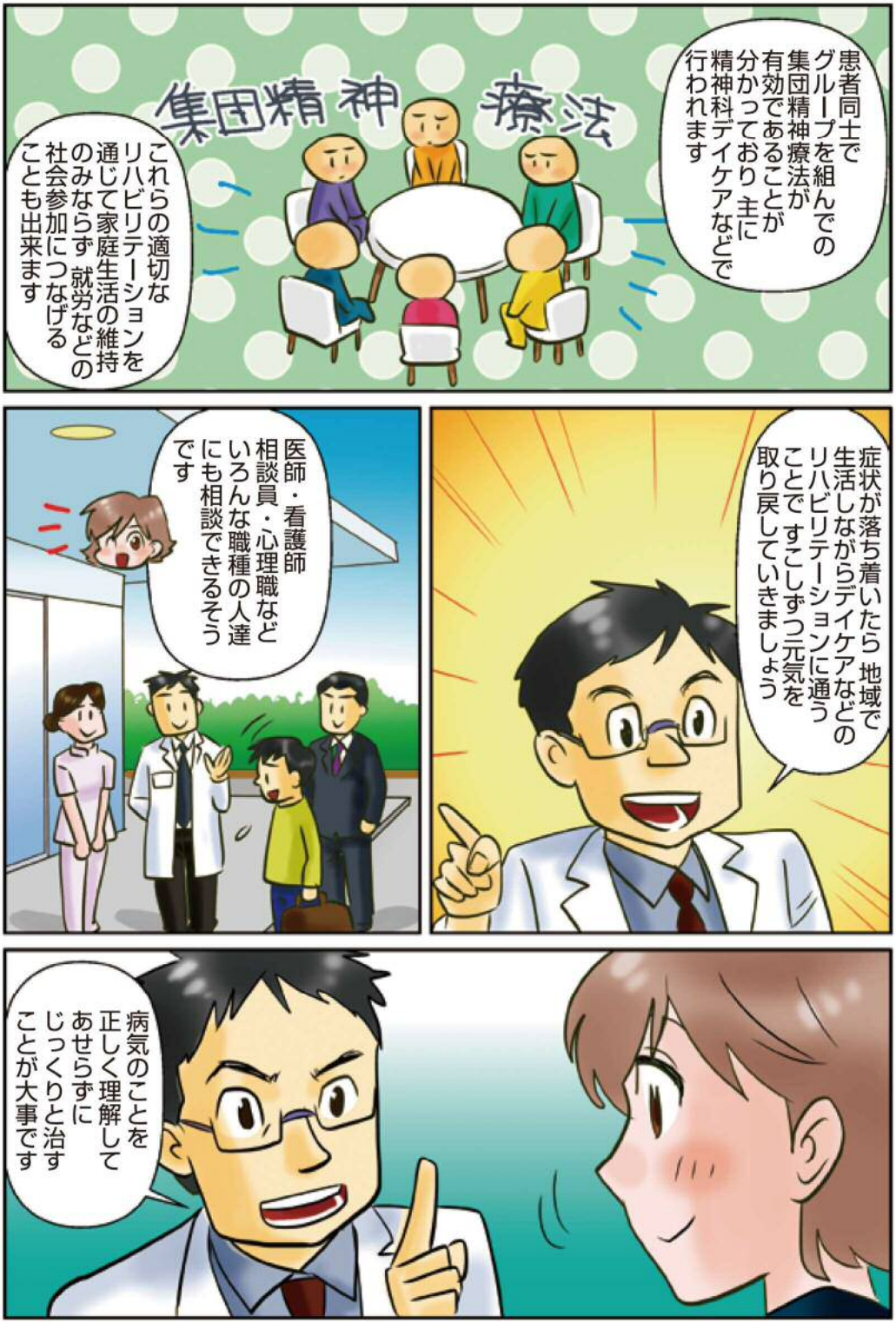
患者さんが何も言わないと「副作用はない」「困っていることはない」と判断されることもありますので気になる症状があればためらわず医師や病院のスタッフに相談しましょう

C.リハビリテーション

病状が落ち着いたら社会復帰に向けたリハビリテーションが重要な意味を持ってきます

ストレス

統合失調症の患者さんはストレスに対してもろい面があるのでそれへの対処法が必要となります


患者同士でグループを組んでの集団精神療法が有効であることが分かっており 主に精神科デイケアなどで行われます
集団精神療法
これらの適切なリハビリテーションを通じて家庭生活の維持のみならず 就労などの社会参加につなげることも出来ます
症状が落ち着いたら 地域で生活しながらデイケアなどのリハビリテーションに通うことで すこしずつ元気を取り戻していきましょう
医師・看護師相談員・心理職などいろんな職種の人達にも相談できるそうです
病気のことを正しく理解してあせらずにじっくりと治すことが大事です

こころの病気に関するご相談は・・・

最寄りの区役所・支所保健福祉センター
または
京都市こころの健康増進センターへ

京都市こころの健康増進センターでは，
統合失調症などこころの病気に関する不安，心配，
その他こころの健康についての
電話相談，来所相談（予約制）を行っています。
秘密は固く守られますので，安心してご利用ください。

まずは相談専用電話にお電話ください

おはなし
075-314-0874

9：00～12：00／13：00～16：00
（土・日・祝日・年末年始を除く）

京都市こころの健康増進センター

TEL 075−314−0355　FAX 075−314−0504

http://kyoto-kokoro.org/

平成 30 年 3 月発行

京都市印刷物第 244654 号